

令和7年度 第1回 米子市児童文化センター運営委員会 発言要旨

1 令和6年度事業報告について

(委員)

ボランティアとしてかかわった事業において、前年に見られた課題が繰り返されていた。事業の振り返り及び全職員による責任ある運営を行ってほしい。

(事務局)

今後は事業後の振り返りと改善を徹底していきたい。また、事前に関係者との打合わせは行っていたものの、当日の進行において計画通りに進まなかったことは反省点と捉えている。昨年度の振り返りが十分でなかったことも今後の課題として取り組んでいきたい。

(委員)

熱中症アラートが発令されたために、プレーパーク事業が中止になった回数は。

(事務局)

7月が3回、8月が2回中止となった。

(委員)

熱中症は怖いので、発令にかかわらず様子を見て中止の判断をしてほしい。

(委員)

出張事業はどのようなことをしているか。

(事務局)

工作や昔遊び、絵本の読み聞かせなど、希望に合わせた活動を行った。天体観測も人気の出張事業である。皆生市民プールの空き部屋を使って、水泳講座に来たこども達に、昔遊びや絵本の読み聞かせも行った。また、小学校では主に実験の出前授業を行った。

(委員)

各事業の成果や効果を踏まえて、継続すべきもの・見直すべきものの整理が必要ではないか。そうした事業評価や今後の方向性について、報告や説明を求めたい。

(事務局)

令和6年度においては27件の新規事業を実施し、そのうち約10件はセンター単独事業、残りは協力・共催事業である。共催事業の継続は相手方の意向に基づき判断しており、センター単独事業については必要に応じて継続・終了を決定している。なお、連携事業の中では「未来のはかせを目指そう！（米子高専連携）」が好評であり、令和7年度も継続実施を予定している。

(委員)

アンケートの回収率が上がったことの要因は。

(事務局)

施設管理用とイベント用アンケートの様式を統一・整備したことと、アンケート回収率向上のためこどもを対象としたアンケートも実施するようになったことが挙げられる。

(委員)

アンケートの回収率が上がるように、ちょっとした声かけなど、回収しやすくなる工夫を取り入れていくとよいのではないか。ぜひ今後の参考にしてほしい。

(委員)

web 申し込みの開始は利用者増の一つの要因となっているのか。

(事務局)

往復はがき利用時に比べ、実際にクラブの申込数は増えており、その一因といえる。しかしながら、利用者増以上に利用者の利便性の向上に大きくつながったと考える。職員の事務効率としても、電話対応や往復はがきの対応に比べると大幅に改善されている。

2 令和6年度モニタリング結果について

(委員)

赤字に関してどのように補填しているか。また、解決策はあるか。

(事務局)

赤字部分は米子市文化財団が補填している。なお、同財団はその他にも9施設を指定管理しているためその枠組みの中で対応している。現指定管理期間が開始した平成28年度時点では、昨今の人件費上昇や物価高騰を見込むことはできなかった。来年度からの次期指定管理者の選定にあたり、現状を加味した適切な指定管理料を設定していきたい。

(委員)

10年という長い指定管理の期間が、人件費などの値上がりに対応できなかったのでは。指定管理者の選定に関しても、米子市が事業を任せられる組織に担ってほしい。

(事務局)

今年度が指定管理の最終年度であり、期間を10年ではなく5年として、指定管理者選定の事務にかかっている。児童文化センターは専門性の高い運営が求められるため、対応可能な団体が限られており、現時点では非公募で文化財団を候補とする方針。最終決定は秋の審議会で行う予定であり、市民サービスの維持にも配慮して進めていく。

(委員)

状況は把握した。よりよい運営のために予算の増額と、専門性の高い職員の採用が必要なのでは。また、開館40数年が経過しており災害対策にも力をいれてもらいたい。耐久性に不安もあり、改築等も視野に入れてほしい。

(委員)

赤字改善のため、利用料の値上げを検討してもよいのでは。

(事務局)

現状として、出張料金は米子市内であれば1,000円、参加型の事業では材料費といったほぼ実費の負担をいただいている。

(委員)

施設改修について、今年度中に実施予定のものはあるか。

(事務局)

限られた予算の中で、まず利用者の安全・安心を最優先に対応している。今年度は、夏季の高温対策としてホワイエのガラスコーティングを実施済みであり、日差しを軽減するための処置を行った。加えて、雨漏り修繕、非常用発電機の修繕は、今年度中に実施する予定である。

3 その他

(事務局)

委員の皆様には、今後も児童文化センターを見守ってほしい。医大や湊山公園の動きに合わせて、子どもの健全育成を第一に施設整備を順次進める。施設は今後も長く継続するため、市民や委員の意見を踏まえながら、より良い施設運営を検討していく。

以上。